

令和6年度

「運営に関する計画」

(自己評価)

【最終評価】

および

「学校関係者評価報告書」

大阪市立北粉浜小学校

令和7年3月

大阪市立北粉浜小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 1 本校では、自尊感情に関して、全国平均や大阪市平均を上回ることができなかった。児童をエンパワメントすることで、自信を持たせて、レジリエンスを育てることを重視したい。また、教育活動やその他のさまざまな取り組みの中で、児童一人ひとりが、自分のよさに気づくことができるように、取り組みを工夫したい。
- 2 不登校や休みがちな児童が増えている。原因として、さまざまな要素があるが、前述の自尊感情や自己肯定感、自己有用感が関係していると考ええる。抜本的な不登校対策を研究し、取り組みを進めたい。また、単学級化が進む中、人間関係の横の広がりを作ることが困難になっている。縦の関係づくりやコミュニケーションスキル(ICT活用も含む)の獲得など工夫をしたい。
- 3 大阪市小学校学力経年調査では、国語・算数の平均正答率の対全国比を、同一集団において経年的に比較し、3学年中、国語では2学年、算数では、1学年が昨年度より向上した。しかし、学力の2極化は解消されていない。授業において、自分の考えをまとめ、発表する場面を増やし、対話的・協働的な学びを喚起する取り組みを進めたい。
- 4 体力・運動能力に関しては、本校の課題である持久力の向上に取り組むために、「縄跳び週間」や「駆け足週間」、「大縄週間」などの取り組みを進めて、さまざまな運動に関する「頑張りカード」を各学年で工夫をして、一定の成果はあった。さらに、生涯スポーツの観点から、運動・スポーツに対して、「喜び」や「楽しみ」を感じる取り組みを工夫したい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 令和7年度末の大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」の割合を85%以上にする。
- ② 令和7年度末の年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ③ 令和7年度末の児童アンケートにおける「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。
- ④ 令和7年度末の児童アンケート「たがいのよさやちがいをみとめ合って、友だちを大切にしていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 令和7年度末の大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合50%以上にする。
- ② 令和7年度末の大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 令和7年度末の時点において、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日数の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等のICT活用が適さない日数を除く〕
- ② 令和7年度末の児童アンケート「パソコンやタブレットを使った授業は楽しいですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。
- ③ 令和7年度末において、第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基本1を満たす教職員の割合を50%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- ① 大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」の割合を75%以上にする。
- ② 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ③ 児童アンケートにおける「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。
- ④ 児童アンケート「たがいのよさやちがいをみとめ合って、友だちを大切にしていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。
- ② 大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日数の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等のICT活用が適さない日数を除く〕
- ② 児童アンケート「パソコンやタブレットを使った授業は楽しいですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。
- ③ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基本Ⅰを満たす教職員の割合を45%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

本年度も、学校運営において、全教職員が、この「運営に関する計画」を意識して、日々、取り組みを進めた。

本年度の各取り組み内容や指標の設定は、適切であったと考える。

本年度、「学びを支える教育環境の充実」の最重要目標では、年度目標を達成することができた。

一方、「安全・安心な教育の推進」、「未来を切り拓く学力・体力の向上」の最重要目標では、あと1歩のところまで、年度目標を達成することができなかった。

また、それぞれの年度目標達成に向けた取り組みにおいても、達成することができた指標があれば、達成することができなかった指標もあった。

3つの最重要目標の中で、一昨年度から設定された「学びを支える教育環境の充実」において、いい結果を出すことができた。「学びを支える教育環境の充実」ができれば、「安全・安心な教育の推進」ができ、「未来を切り拓く学力・体力の向上」ができると考える。

本年度のこれらの成果をさらに大いに伸ばし、一方、克服することができなかった課題を改善するために、来年度は、さらに、高い年度目標を設定して、また、一部は、年度目標の数値を修正して、引き続き、全教職員で、年度目標の達成に向けて取り組みを進める。

来年度、本校は、創立60周年を迎え、今、さまざまな創立60周年記念事業を計画している。

一昨年度の5月に、新型コロナウイルスが第5類に指定されて、それまでの新型コロナウイルス感染対策が緩和され、さまざまな面において、コロナ渦以前に戻りつつある。地域行事が復活して、学校行事の中の体育的行事や儀式的行事においては、地域のご来賓をお招きして実施をすることができた。地域の中にある学校として、地域と連携を密にして、学校運営を進めていかなければならない。

次年度以降、本校のよき伝統を守り続けること、新しく改革を進めること、この両輪をバランスよく、全教職員で、令和7年度末の中期目標の達成に向けて、学校運営を進める。

(様式2)

大阪市立北粉浜小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>① 大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」の割合を75%以上にする。 3年生 86.1% 4年生 69.2% 5年生 53.3% 6年生 60.6% 全学年: 67.2%</p> <p>② 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 令和5年度 3.59% → 令和6年度 3.57%</p> <p>③ 大阪市小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。 70.3%</p> <p>④ 児童アンケート「たがいのよさやちがいをみとめ合って、友だちを大切にしていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。 93.1%</p>	C

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>各学級・学年で仲間づくりに取り組む。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>道徳教育や人権教育などを通して、各学級・学年で仲間づくりに取り組む。</p> <p>○ 「たがいのよさやちがいをみとめ合って、友だちを大切にしていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。 93.1%</p>	C
<p>取組内容②【2、豊かな心の育成】</p> <p>対話をもとにした学級づくり、授業づくり、行事づくりを通して、自己肯定感を高める取り組みを進める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>教育活動全体で、自己肯定感を高める取り組みを進める。</p> <p>○ 児童アンケートにおける「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を80%にする。 70.3%</p>	C

<p>取組内容③【2、豊かな心の育成】</p> <p>豊かな感性をはぐくむために、さまざまな分野の体験学習・体験活動の充実をはかる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>地域の方やゲストティーチャーから学ぶ体験学習や、校外で活動する体験学習を、計画的に実施する。</p> <p>○ 児童アンケート「地域の方やゲストティーチャーから学ぶ体験学習や、校外で活動する体験学習で新しい学びを得ることができましたか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">86.2%</p>	C
<p style="text-align: center;">年度目標の達成状況の結果と分析（最終評価）</p> <p>【年度目標】について</p> <p>概ね、計画通りに取り組みを進めることができた。</p> <p>【取組内容】について</p> <p>取組内容①【安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度当初の計画通りに、定期的に児童理解研修会を実施したり、日々の児童に関する情報を教職員共有の端末の連絡掲示板で共有したりするようにして、児童理解に努めた。 ・ 人権教育部会・人権教育全体会を定期的に行ったり、人権実践交流会に参加したりすることで仲間づくりや学級運営に生かした。また、各学級でも取り組みを行った。 ・ 外部による講師を招いて、3年生から6年生を対象にした「スマホ安全教室」を行い、さまざまなルールを知り、自分や他の人を大切にしながらインターネットを活用する方法を学ぶことができた。 <p>取組内容②【豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校全体で縦割り班での集会活動やなかよし集会、複数学年での水泳学習や学校探検を実施して、異学年でも互いの思いやりの心を育てながら協力し合えるような活動を充実させた。 ・ 朝の会や終わりの会でいいところみつけや話し合いの活動を行った。活動の中で学年に応じた対話のヒントカードを活用することで、少しずつ子どもたち同士で対話ができるようになった。 ・ 学校全体の研究主題として、「対話による授業づくり」を設定し、対話する活動を取り入れることで、自分と違う意見であっても認め合えるようになった。 	

取組内容③【豊かな心の育成】

- ・ 生涯学習ルーム事業の方々との地域連携学習を実施する中で、地域・区役所・消防署・工営所の方々をゲストティーチャーとして招いて、日頃の学習では味わえないさまざまな体験学習を行った。
- ・ 修学旅行や林間指導、社会見学に行くことで、学校での学びを深めるようなさまざまな体験学習を行った。

次年度への改善点（最終評価）

取組内容①【安全・安心な教育環境の実現】

- ・ いじめについて考える時間を設定する。
- ・ 道徳教育や人権教育だけでなく、総合的な学習の時間や学級活動の時間も活用して、各学年・各学級で仲間づくりに関する取り組みを行う。
- ・ 「大縄大会」では、当日までに各学級で目標を決めて、目標に向かって休み時間に練習するなど学級が団結している様子が見られたので、次年度以降も、「大縄大会」など、学級・学年が一致団結できる体育的行事を行う。

取組内容②【豊かな心の育成】

- ・ ポジティブ行動支援に取り組む。
- ・ ペア学年や異学年での活動を継続的に行い、自己肯定感を高める。1年生と6年生のペア学年以外にも取り組む。また、活動後の振り返りを充実させる。
- ・ キャリアパスポート等を活用して、自分のいいところを考える活動を行う。
また、定期的に見返すことで自分のいいところについて考える機会を設定する。

取組内容③【豊かな心の育成】

- ・ 体験学習・体験活動と各教科・領域との関連を図り、学習した内容と体験が結びつくような活動を行う。
事前指導や事後指導をより丁寧に行うことによって、学びの自覚を促す。

(様式2)

大阪市立北粉浜小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>① 大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。 28.1%</p> <p>② 大阪市小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。 63.6%</p>	C

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【4、誰一人取り残さない学力の向上】 課題に対して自分の考えをもち、考えを伝え合うことで、考えを深める力の育成を図る。</p> <hr/> <p>指標 自分の考えをもち、考えを伝え合う授業を進めることで、主体的・対話的な学びを実現する。</p> <p>○ 大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。 28.1%</p>	C
<p>取組内容②【5、健やかな体の育成】 運動・スポーツの楽しみを感じ、体力向上につながる取り組みを進める。</p> <hr/> <p>指標 運動・スポーツの楽しみを感じ、持久力を中心に体力を高める運動を取り入れ、児童の体力向上への意識を高める。</p> <p>○ 大阪市小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。 63.6%</p>	B

年度目標の達成状況の結果と分析（最終評価）

【年度目標について】

計画通り、目標達成に向けた取り組みを進めることができた。

【取組内容】について

取組内容①【誰一人取り残さない学力の向上】

- ・ 大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答した児童の割合が28.1%であり、目標を達成することができなかった。昨年度から7.4ポイント下がっていることから、話し合い活動はしているが、自分の考えが深まったり広がったりしたと振り返り、実感する機会が少なかったことが原因と考えられる。
- ・ 目標は達成できなかったが、聴くこと憲法・聴き合いピラミッドなど話の聞き方のルールを学級で決め、対話において大切な聞き合う関係づくりに取り組んだり、サークル対話や別室でのグループ対話を取り入れ、自分の考えを持ち、考えを伝え合う授業を進めたりすることができた。

取組内容②【健やかな体の育成】

- ・ 運動会では、全学年3種目の演技・競技を実施して、運動・スポーツの楽しさを感じ、児童の体力向上への意識を高めることができるように取り組んだ。
- ・ 本校では、持久力が課題であるので、11月に「縄跳び週間」、1月に「駆け足」の取り組みを予定通りに実施した。
- ・ 冬は、外遊びをする児童が少なくなるので、「大縄週間」や「大縄大会」を実施して外に出る機会を作った。
- ・ 大阪市小学校学力経年調査において、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」という質問に対して、最も肯定的な「好き」と回答した児童は63.6%で、目標より1.4ポイント下回った。
- ・ 目標には達しなかったが、アンケートに答えた3年生～6年生を学年ごとに分析すると、半分の学年が目標に達していた。また、アンケートを実施し終わった第3学期に「駆け足週間」と「大縄週間」を実施したので、その後、おそらく数値は、上昇していると考えられる。

大阪市立北粉浜小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標		達成 状況
【最重要目標３ 学びを支える教育環境の充実】		B
① 授業日において、児童の８割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日数の５０％以上にする。 〔ただし事務局が定める学校行事等の ICT 活用が適さない日数を除く〕		
11.2%		
② 児童アンケート「パソコンやタブレットを使った授業は楽しいですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を８５％以上にする。		
85.6%		
③ 第２期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基本Ⅰを満たす教職員の割合を４５％以上にする。		
50.0%		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 心の天気・相談申告機能をはじめ、児童が学習用端末を毎日、使用する機会を設定する。</p> <hr/> <p>指標 心の天気・相談申告機能をはじめ、児童が学習用端末を毎日、使用する機会を設定する。</p> <p>○ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日数の50%以上にする。 〔ただし、事務局が定める学校行事等のICT活用が適さない日数を除く〕 11.2%</p>	C
<p>取組内容②【6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 日々の授業で学習者用端末の活用を図る。</p> <hr/> <p>指標 学習者用端末の活用した授業づくりを進め、ICT活用を進めている。</p> <p>○ 児童アンケート「パソコンやタブレットを使った授業は楽しいですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。 85.6%</p>	A

<p>取組内容③【7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員のウェル・ビーイングのための働き方を追求する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>教職員自らが、働き方改革を進めていく意識をもち、行動を起こす。</p> <p>○ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基本Ⅰを満たす教職員の割合を45%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">50.0%</p>	A
年度目標の達成状況の結果と分析（最終評価）	
<p>【年度目標】について</p> <p>概ね計画通りに取り組みを進めることができた。</p> <p>【取組内容】について</p> <p>取組内容①【6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習者用端末の活用率は、目標を下回ったが、昨年度に比べると、向上した。 ・ 昨年度は、「心の天気」の入力率が20%程度だったが、今年度は、60%から70%程度のまで向上し、月に数回、8割を超えることがある。 ・ 引き続き「心の天気」の入力が習慣化していない児童に声掛けを行い、積極的な活用につなげる。 ・ 今年度は、朝の校内放送で、毎朝「心の天気を入力しましょう。」と放送して呼びかけた。 ・ 「心の天気」や「相談申告機能」を通して、児童が教職員に複数回相談した機会があり、適切な指導を行うことができた。 <p>取組内容②【6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会の練習で、表現運動の振り付けを動画で配信して、児童が自主練習できるようにした。 ・ 運動会のスローガンをアンケート機能を活用して学習者用端末で回答することができるようにした。 ・ 高学年は、調べ学習で学習者用端末を活用した。 ・ 6学年中の2学年が、毎日、学習者用端末を持ち帰って学習をした。 ・ 高学年の理科の学習活動では、観察・実験を学習者用端末を活用して、まとめの学習活動をした。 	

- ・ 学習参観で、学習者用端末を使った発表を低学年から行った。
- ・ 高学年では、外国語のデジタル教科書を活用して、学習活動に取り組んだ。
- ・ 不登校児童への対応として、次の日の連絡事項をオンラインで送信した。

取組内容③【7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

- ・ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基本Ⅰを満たす教職員の割合は、50.0%で、目標を5ポイント上回って達成した。

次年度への改善点（最終評価）

取組内容①【6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】

- ・ 毎日決まった時刻に入力したり、大型モニターに「心の天気」の入力状況を映したりするなど、「心の天気」の入力が習慣化する取り組みが必要である。
また、各学級担任が、きちんと入力ができているかを、確実に確認をする。
- ・ 「心の天気」の入力状況を見て、児童に適切な声掛けをする。

取組内容②【6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】

- ・ ICT教育誌などのICT活用資料が届いたら、職員で回覧することで、ICT活用方法を共有する。
また、ICTコーナーに常備して、いつでも、誰でも手に取って見ることができるようにする。
- ・ 実態に応じてFormsのアンケート機能や、Canvaの共同編集機能を活用する。
- ・ 校内で、学習者用端末の活用例などの実践交流会の機会を設定する。
- ・ 学年ごとに、学習者用端末の活用目標を設定する。

取組内容③【7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

- ・ 次年度以降も引き続き、働き方改革の推進に取り組み、勤務時間数の削減に取り組む。
また、働き方満足度も向上させる。

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立北粉浜小学校 学校協議会

I 総括についての評価

今年度の学校の自己評価結果は、妥当である。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】は、年度目標を達成することができた。。学校で、良好な学校運営がされていることがわかる。

一方、【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】と、【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】は、年度目標を達成することができなかった。来年度は、【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】と、【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】も、年度目標を達成することができるよう、さまざまな取り組みを進めてほしい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標 : 安全・安心な教育の推進

今年度の学校の自己評価結果は、妥当である。

不登校児童の在籍比率が減少したことは、とても良い。

年度目標 : 未来を切り拓く学力・体力の向上

今年度の学校の自己評価結果は、妥当である。

年度目標 : 学びを支える教育環境の充実

今年度の学校の自己評価結果は、妥当である。

「心の天気」や「相談申告機能」などをはじめとして、学習者用端末を積極的に活用してほしい。

3 今後の学校運営についての意見

よかった点は継続し、一方、改善するべきところは改善し、来年度以降に大いに活かしてほしい。

学校は、来年度、創立60周年である。児童が在学中にその区切りの年に巡り合えることは、大変貴重である。みんなで何かを共有できる1年間にしてほしい。

今後も、魅力ある学校づくりのために、さまざまな取り組みを学校・家庭・地域が連携して行う必要がある。